

第 2 回 学 会 内 容

【記念講演】『 障害者の就労による社会参加 ～ソーシャルファームの役割～ 』

講師：社会福祉法人 恩賜財団 済生会 理事長 炭谷 茂 氏

《 略 歴 》

- 1946 年富山県生まれ、1969 年東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入省
 - 厚生省社会・援護局長、環境省官房長等を経て環境事務次官に就任、2006 年 9 月退任
 - 現在、恩賜財団済生会理事長、日本障害者リハビリテーション協会会長、中国残留孤児援護基金理事長、富山国際大学客員教授、環境福祉学会会長、ソーシャルファームジャパン理事長等を務める
- また、公務員在職時から一個人として障害者、ホームレス、刑務所出所者等への就労支援、貧困地域のまちづくりに従事

主な著書:「私の人権行政論」、「環境福祉学の理論と実践」、「社会福祉の原理と課題」



「行政のおもしろさは、ライフワークと出会うこと」人生をかけて取り組むテーマが日々の行政のなかにあると炭谷氏は語っています。そんな想いが形になったのが、現役の頃からのスラム支援活動であり、今日まで続く障害者支援とりわけソーシャルファームの普及活動です。立場を超えて目の状況を開拓していくその生き方に、感化された人たちが新たな取り組みの拡がりを作っています。

第 2 回作業所学会の記念講演は、「事業所」の実践の原点を確かにすると同時に、「支援」の思想を学ぶスリリングな機会になることでしょう。

※ 事前に撮影した動画での配信となります。

【分科会】支援分野別研究

障害当事者の「思い」「働く」「暮らす」について、それぞれ各専門部会より事例発表や報告を通じて課題を提起。参加者の皆さんで意見を出し合い、考えをまとめていただきます。

①意思決定支援 ・ ・ ・ 企画・運営：本人部会

テ　　マ	利用者支援の原点に立ち返ろう ～あなたは、本当にその人を見えていますか？～
課　題　提　起	■ 「強度行動障害支援者養成研修」を研究してみた！ 報告者：ともの家 犬塚 朱美氏 氏 事例報告者：ワークショップくるみ 佐々木 憂子 氏 ともの家 北條 麻理 氏
進　　行	ともの家 瀧戸 恵美 氏

②就労支援 ・ ・ ・ 企画・運営：就労支援部会

テ　　マ	職員に求められる現場力とは
課　題　提　起	■ 「職員に求められる現場力」の研修より 報告者：みどりの樹 寺田 志のぶ 氏
進　　行	第2くるみ作業所 大石 影子 氏

③地域生活支援 ・ ・ ・ 企画・運営：地域生活支援部会

テ　　マ	グループホームとは何なのか？ ～こんな時代にグルホかよ？～
課　題　提　起	■ 「グループホームをやるって、どこまで共に生きるってこと？」 報告者：グループホーム すてっぷ 大橋 正季 氏
進　　行	グループホーム風 石上 直彦 氏

【全体ディスカッション】 テーマ：『当事者の思いに寄り添う支援のために』

進　　行：静岡福祉大学 教授 増田 樹郎 氏 （研修委員会アドバイザー）

制度化以降、サービスの標準化を図るために様々な『基準』が整えられ、必然的に事業所・当事者・行政の3者は各サービスを固定化し、その枠を意識するようになりました。

一方、人の「したい・なりたい」といった『思い』は様々な経験から創造される主観的なものであり、なおかつ流動的なものです。当たり前ですが、サービスに左右されるものではありません。

私たちは当事者の『思い』の実現、言うなれば未来創造に向けて活動してきました。しかし、『基準』に捉われ・阻まれするうちに、ふと気付けば「できる・できない」という視点に偏ってしまっていた…という話も耳にします。

この時間では、分科会の報告をもとに、皆さんから忌憚のないご意見をいただきながら、改めて『思い』に寄り添うということを考えていきたいと思えます。